

信州大学の学生像

－JCSS2012から読み取れたもの－

高等教育研究センター 李敏
limin@shinshu-u.ac.jp

1

このセクションの目的

1. 信州大学の学生を理解する。
2. 学生がどのような支援を必要としているのかを整理する。
3. 一教員として、効果的な支援を提供できるように準備する。

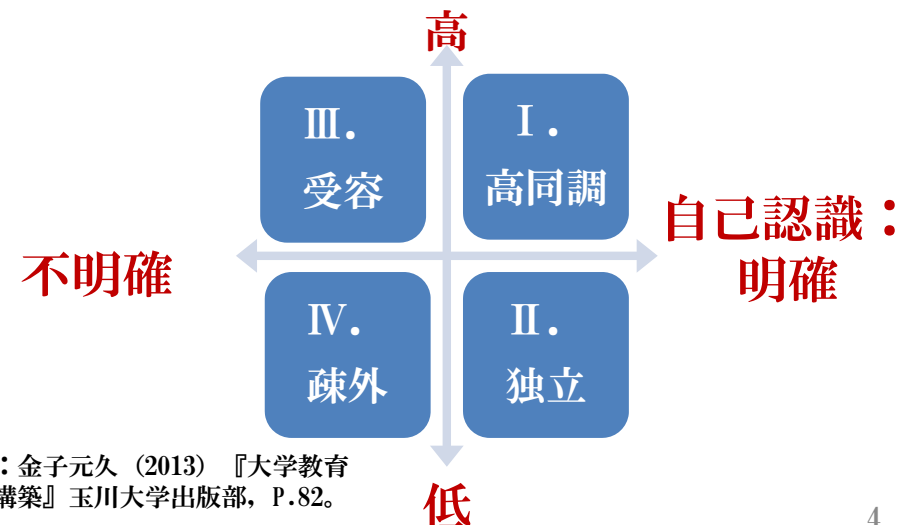
2

まず、あなたが見た信大生の印象
を教えてください

3

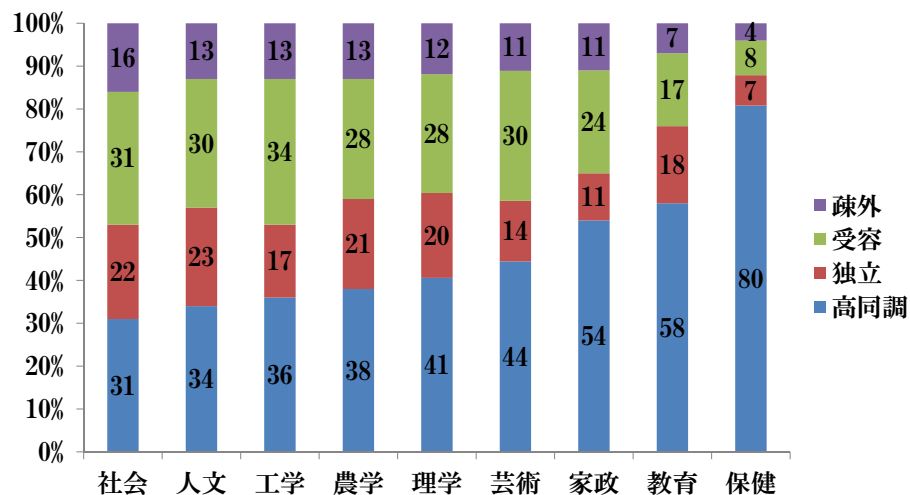
大学にどのようなタイプの学生が
いるのか（学習動機のパターン）

大学の目的と適合度：



4

専門分野別にみた動機パターンの分布



出典：『全国大学生調査』（2006-2008）東京大学大学院教育研究科大学経営研究センター，標本数47,592（全学年）

5

信大の学生調査

・ 大学生調査（JCSS）

（JCIRP College Student Survey、略してJCSS）

⇒上級生を対象とする。

JCSS2012 ⇒ **今回ご紹介する内容**

JCSS2014

・ 新入生調査（JFS）

（JCIRP Freshman Survey、略してJFS）

⇒新入生を対象とする。

JFS2013

その他の調査：学習時間調査、授業アンケート（毎年）

卒業生調査（2014年）等々

6

大学生調査（JCSS）概要

1. 調査期間 2012年11月

2. 調査対象の属性

1) 有効回答数： 1,344 そのうち：**4年生 1,284 (96%)**

2) 各学部への回答数：

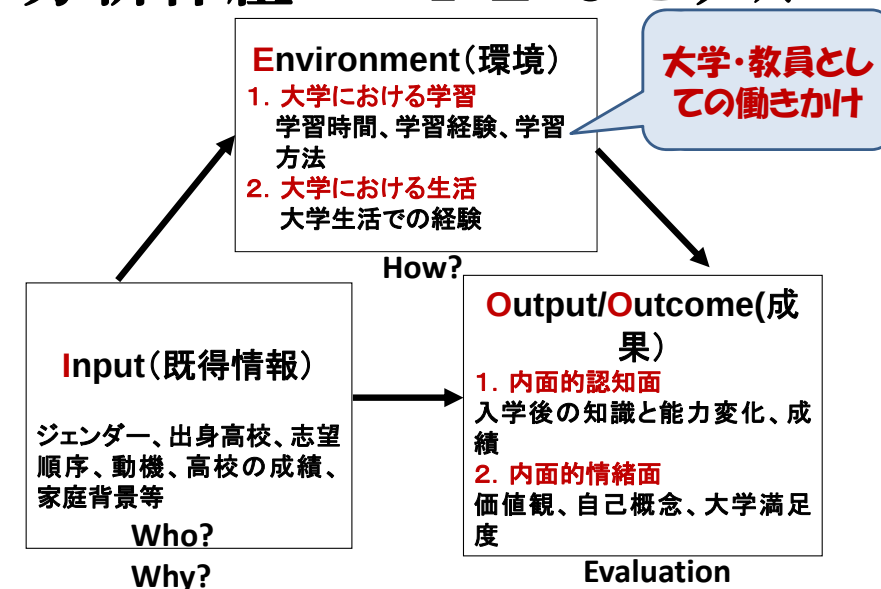
人文学部 26	教育学部 204	経済学部 89
理学部 96	医学科 104	保健学科 37
工学部 421	繊維学部 228	農学部 138

⇒ **4年間の大学生活の振り返り**

7

分析枠組

I-E-Oモデル



Astin, A.W.(1993). *Assessment for Excellence: The Philosophy and Practice of Assessment and Evaluation in Higher Education*, Phoenix, Arizona: ORYX Press. P.18

8

Input (Who?)

家庭背景

項 目	全 学	各学部
保護者の学歴:短大・大卒・大卒以上	父親57%(46%) 母親48%(40%)	医: 父親73% 母親70%
奨学金の受給率(授業料免除も含む)	50% その内(2種受給:5.4%、3種類受給:0.6%)	

信大生の保護者の学歴は比較的に高い。

注: () の数値は他大学を含む全調査大学の平均値 (以下同)

9

Input (Who?)

出身高校

項 目	全 学	各学部
出身高校:公立高校	79%	医:私立 45%
高校の成績:「中の上」と「上位」	45%	医:56%

公立高校の出身者が8割近く占めている。
比較的に学力の高い学生が進学している。

10

Input (Who?)

背景志望

項 目	全 学	各学部
第一志望で進学した学生 (不本意進学した学生)	56%(53%) 44%(47%)	農:69%、経:66% 保:62%
自分の大学生生活が充実している	88%	教:93% 農、保:92% 医:91%、織:90%
もう一度選び直せるとしても信州大学に入学する	45%	農:54% 教:52%

- 実は、高卒の時点で、明確な進路展望を持っている学生は少ない。
- 大学生活に対する評価はかなり高い。

11

Input (Why?)

進学動機・全学

• 本学の合格可能性が高かった	79%	①
• 入試科目が自分に合っていた	72%	
• 大卒の学歴を得ることができる	69%	②
• 学生生活を楽しんでみたかった	68%	③
• ひとり暮らしができる	57%	
• 学費が適当であった	61%	④
• 本学で学ぶ内容に興味があった	59%	⑤

12

Input (Why?)

進学動機・全学

- ①入試の策略 学力相当の大学
- ②大学の学歴の社会的効用に注目する
- ③大学生活への憧れ
- ④国立だから
- ⑤信州大学だから

⇒ **学力、家庭の経済状況が進学行動に強く影響する。**

13

Input (Why?進学動機・各学部)

- ・ **人**：「学生生活を楽しんでみたかった」 92%
- 「本学で学ぶ内容に興味があった」 81%
- ・ **教**：「資格を取ることができる」 42%
- ・ **経**：「親の希望」 51%
- 「高校の先生に勧められた」 51%
- ・ **理**：「入試科目が自分にあっていた」 52%
- ・ **医**：「資格を取ることができる」 77%
- ・ **保**：「資格を取ることができる」 95%
- ・ **工**：「大卒の学歴を得ることができる」 77%
- ・ **農**：「本学で学ぶ内容に興味があった」 87%
- ・ **繊**：「本学で学ぶ内容に興味があった」 78%
- 「卒業生の就職がよい」 65%
- 「研究に対する評価が高い」 61%

14

Input (Who?)

通学状況

項 目	全 学	各学部
自宅外通学	88%(60%)	経済学部:78%
片道通学時間30分未満	91%(61%)	経済学部:85%

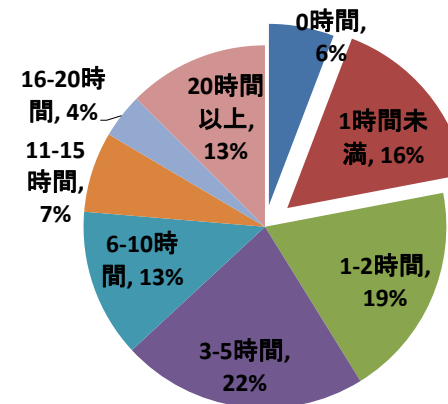
大学の近辺に下宿するケースが多いことは、本調査に参加した他大学と比べて特徴的ところである。

15

大学における学習

学 習

- ・ 授業外学習時間（1週間）



・ 勉強している学生と勉強しない学生が同時に存在している。

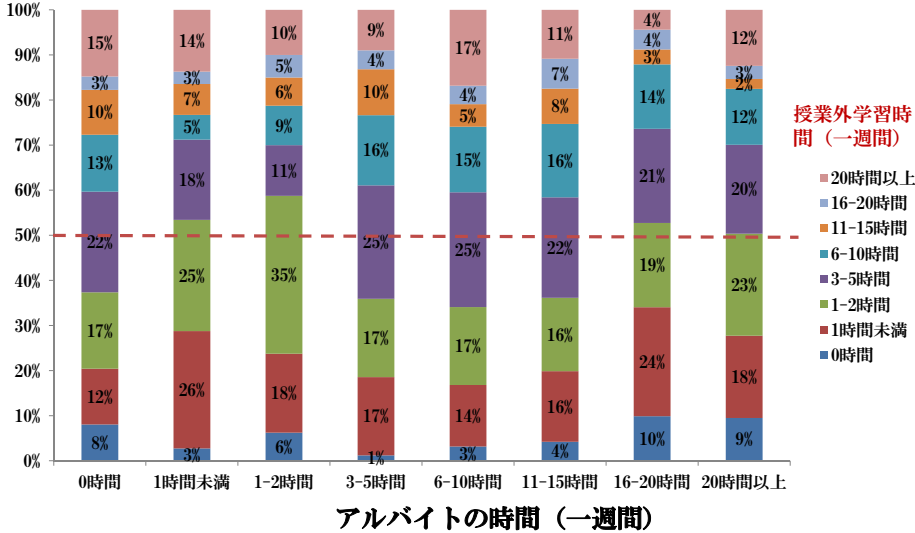
・ ただし、学部によって、授業、実験の時間が長いために、授業外学習時間を圧迫してしまうこともありうる。

16

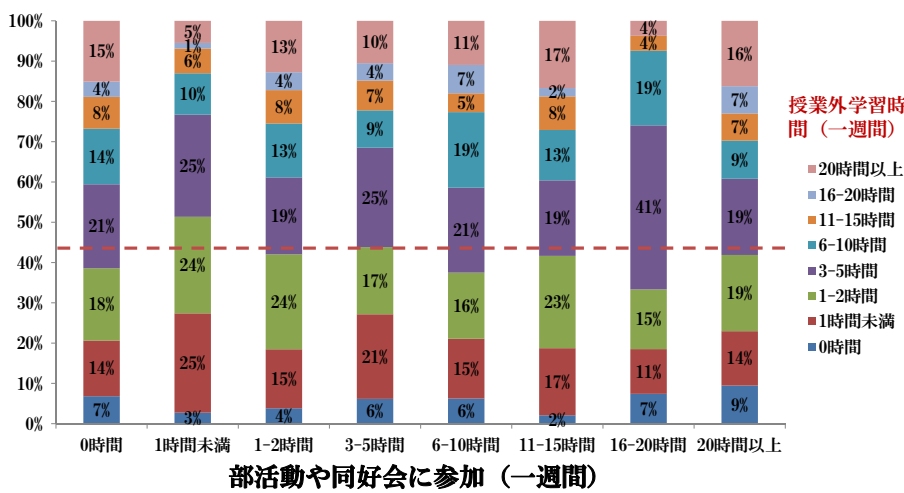
なぜ授業外で学習しないのか。

- アルバイトで忙しいから？
- 部活動に没頭しているから？

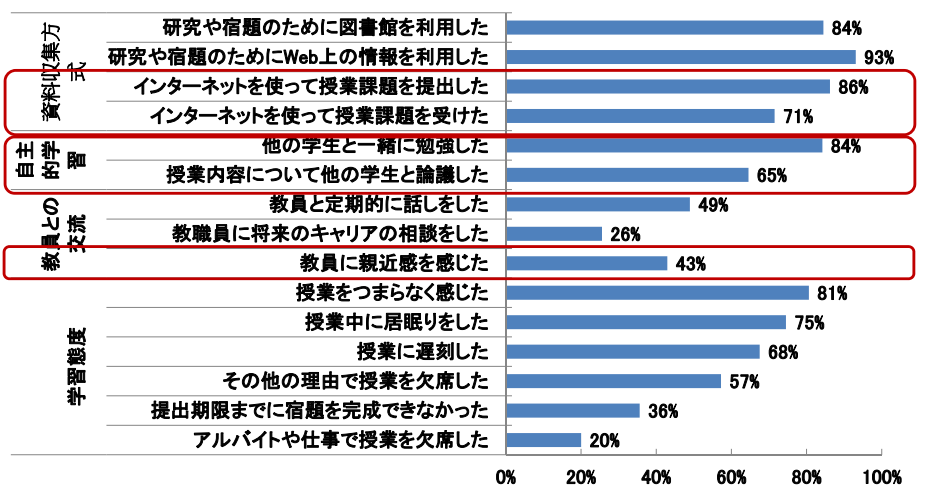
アルバイトと授業外学習時間 (一週間)



部活動と授業外学習時間 (一週間)



学習方法



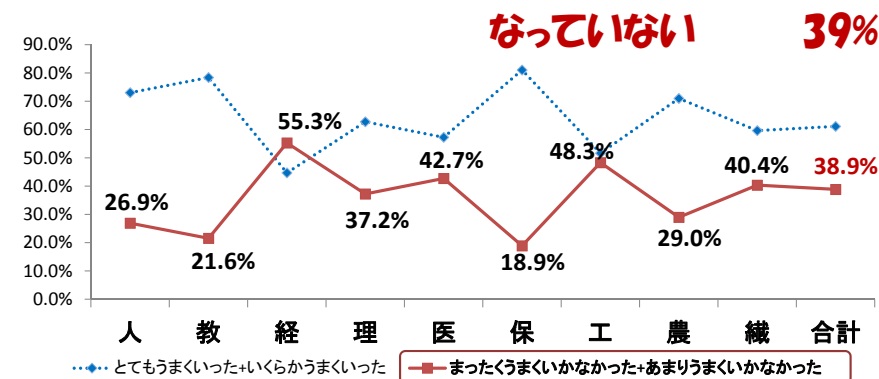
学 習

- インターネットを利用して勉強する。
- 自主的学習を友人とともにする。
- 教員との交流は本調査参加の他大学と比べ、多いものの、教員に親近感を感じた学生は43%にとどまっている。

21

大学生活への適応

- 他の学生と友情を深める 84%
- 大学教員と顔見知りになる 61%



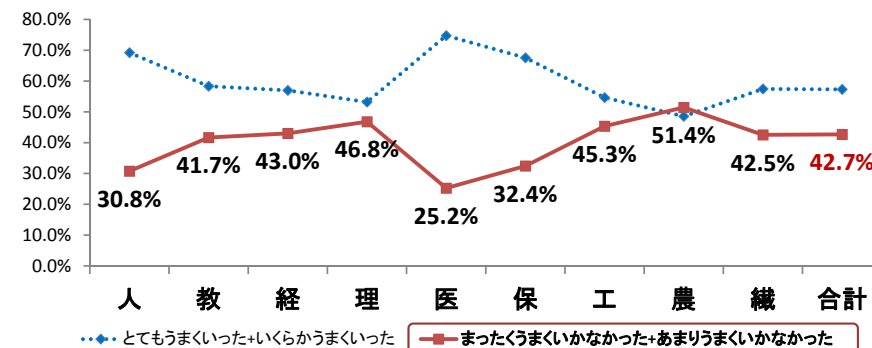
入学してから、大学教員と顔見知りになったのか

22

- 教員が日々の教育の中で学生との接触を増やしたり、学生を個人として知ることが求められる。

23

大学生活への適応

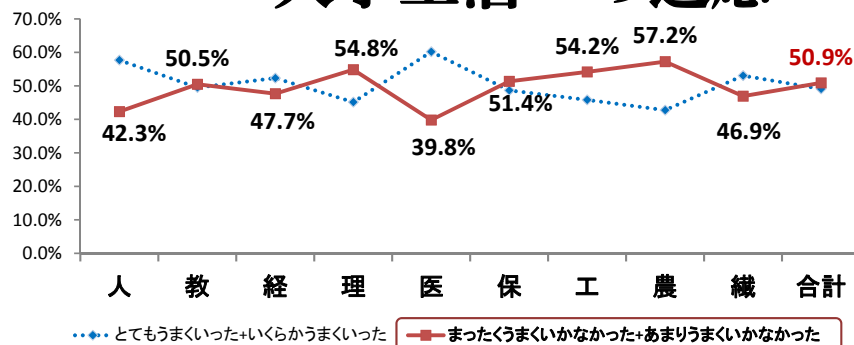


効果的に学習する技能の習得

「まったくうまくいかなかった+あまりうまくいかなかった」
全学 43%

24

大学生活への適応



時間を効果的に使う

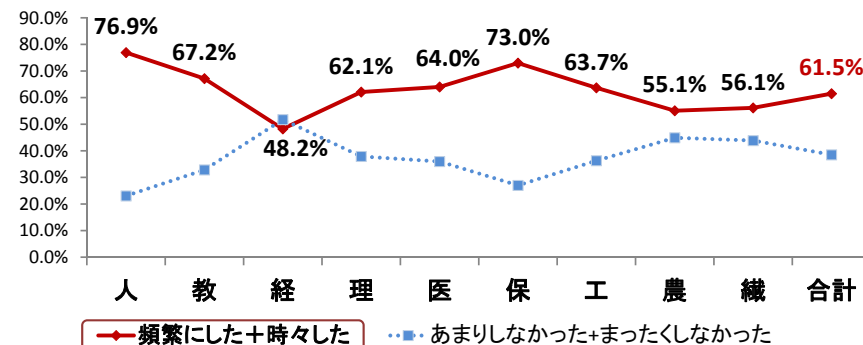
「まったくくまういかなかった+あまりくまういかなかった」

全学: 51%

⇒1年次の時に、学習技能に関する指導が不可欠である。

25

大学生活への適応

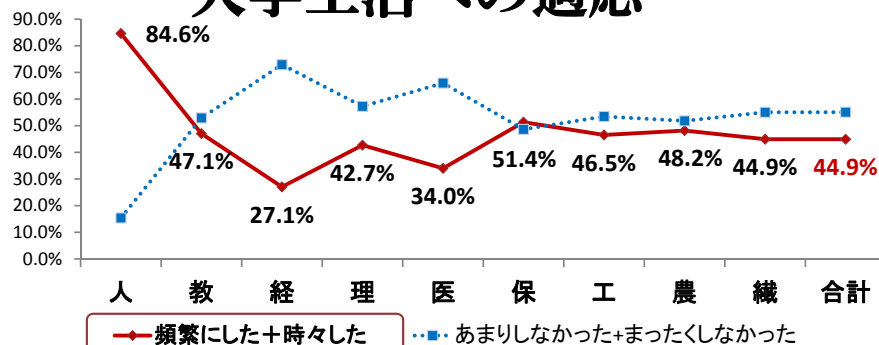


やるべきことの多さに圧倒された

「頻繁にした+時々した」 全学: 62%

26

大学生活への適応



ゆううつで、落ち込んだ

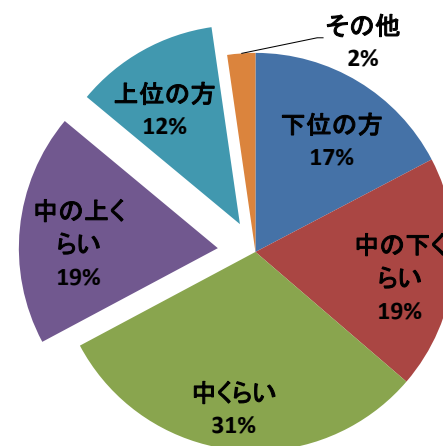
「頻繁にした+時々した」 全学: 45%

⇒保健センターのような専門機関によるカウンセリング以外に、日々の学修支援、学生指導の際にも、学生に対する心理的ケアも必要である。

27

学習成績

・ 本学での成績



上+中の上 3/1
中 3/1
下+中の下 3/1

28

- 成績が振るわない学生はどのような学生でしょうか。

29

Outcome

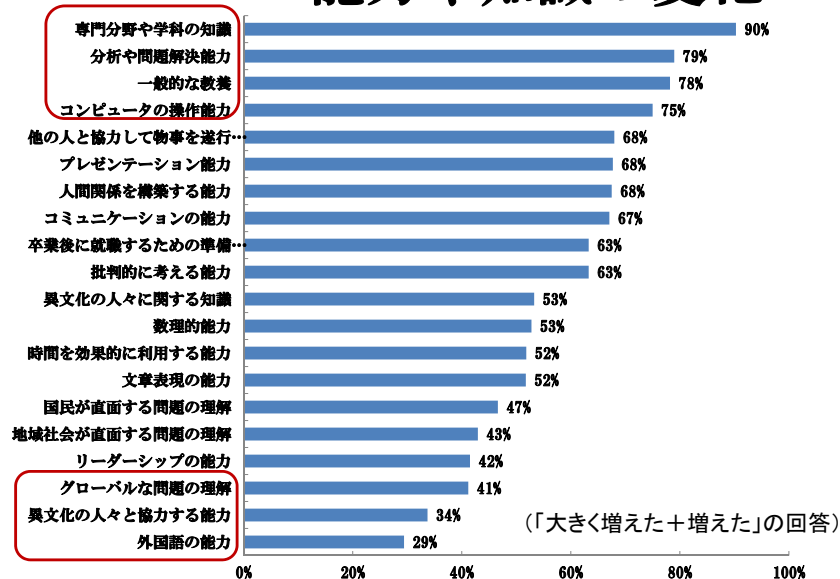
学習成績

- 成績不振の学生の特徴
(在学中の成績：中の下+下位)
 - 高校成績が下位の学生
 - 不本意入学の学生
 - 他の学生との交流、共同学習経験の少ない学生
 - 授業後、勉強しない学生（授業外学習時間の短い学生）
 - 奨学金をもらっていない学生（奨学金をもらっている学生が勉学に励んでいる。）

30

Outcome

能力や知識の変化



入学時と比べて、能力や知識の変化

31

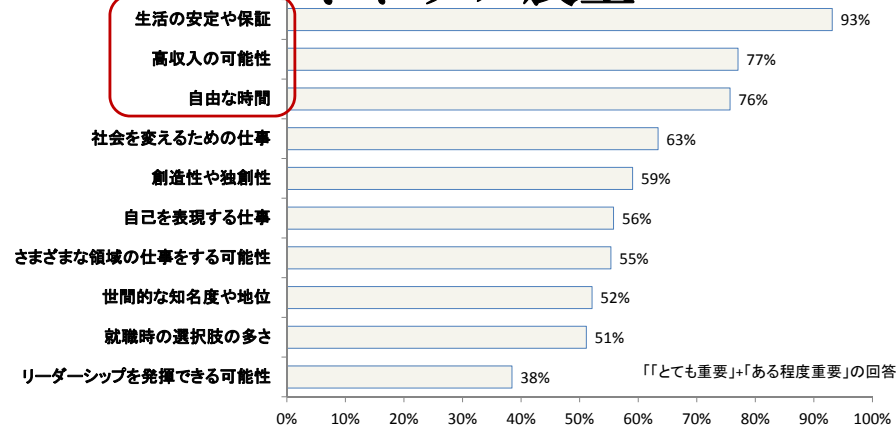
Outcome

能力や知識の変化

- **増えた**：専門知識、教養知識、分析や問題解決能力、コンピュータの操作能力
- **増えていなかった**：外国語能力、異文化の人々との交流能力、グローバルな問題の理解

32

キャリア展望



キャリアの展望

生活大切に学生の特徴が見られる。

33

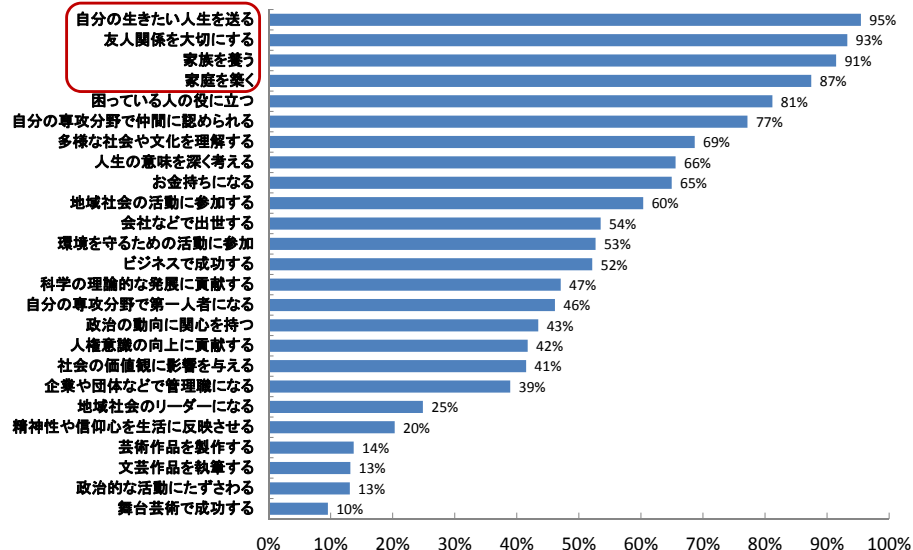
キャリア展望

(平均より高い回答)

- 人：「安定志向」、「自由な時間」
- 教：「就職時の選択肢の多さ」を重視しない
- 経：「世間的な知名度や地位」
- 理：平均的
- 医：「高収入」
- 保：「高収入」、「出世」より、「自分の生活」、「友人」を大事にする。
- 工：「高収入」、「知名度や地位」
- 農：「高収入」、「知名度」、「出世」のことを重視する割合が平均より低い。⇒ 淡泊的？
- 織：「高収入」、「生活の安定や保証」、「創造性や独創性」、「就職時の選択肢の多さ」

34

価値観



35

価値観

(平均より高い回答)

- 人：「自分らしい人生」、「家族・友人」
 - 教：「出世」と「金銭」よりは、「困っている人の役に立つ」、「人生の意味を深く考える」、「地域社会の活動に参加する」、「友人関係を大切に」、「自分の生きたい人生を送る」
 - 経：「管理職になる」「会社などで出世する」、「お金持ちになる」、「ビジネスで成功する」
 - 理：「科学の理論的な発展に貢献する」。
- 「家族を養う」と「家族を築く」平均より低い

36

価値観

(平均より高い回答)

- **医**：「自分の専門分野で第一人者になる」
「科学の理論的な発展に貢献する」
- **保**：「高収入」、「出世」より、「自分の生活」、「友人」を大事にする。
- **工**：「管理職になる」、「会社などで出世する」、「お金持ちになる」、「ビジネスで成功する」、「科学の理論的な発展に貢献する」
- **農**：「環境を守るための活動に参加する」、「多様な社会や文化を理解する」
- **織**：「管理職になる」、「会社などで出世する」、「お金持ちになる」、「ビジネスで成功する」、「科学の理論的な発展に貢献する」

37

まとめ

- あなたが所属する学部の学生にはどのような特徴があるか。

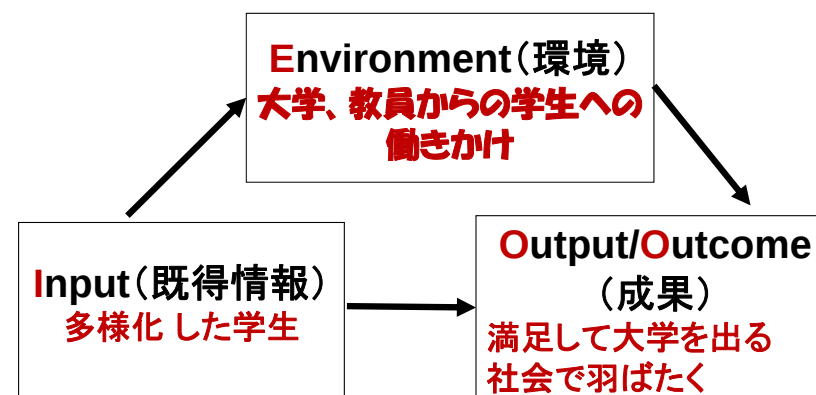
38

まとめ

- **合格の可能性**及び**家庭の経済力**が信大進学の主な基準となっており、大学・学部への愛着が生まれるのは入学してからのこととなっている。
- 進学してからは大学生活に対する満足度が高い。
- **学習方法の習得**及び**学習習慣の養成**が課題である。
- キャリアに関しては、**自分の生活を大事にする**傾向がある。

39

まとめ



40

学生がよりよい学習効果、よりよい満足度を得るために、あなたは学生にどのような働きかけをしていますか（あるいは、今後どのような働きかけをしようと考えていますか）。
1点以上を上げてください。

41

高等教育研究センター
学生総合支援センター
学生相談センター

42

ご静聴、どうもありがとうございました。

コメントとご質問は
limin@shinshu-u.ac.jpへどうぞ！

43